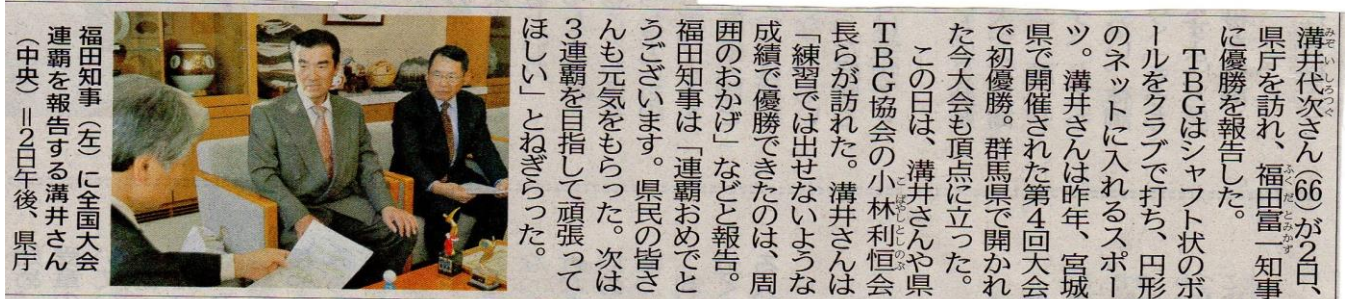


# 全国大会連覇の溝井さん知事表敬訪問

**TBG全国連覇  
溝井さんが報告**

福田知事を表敬  
10月の第5回全日本ター  
ゲットバードゴルフ(TBG  
G)全国大会一般男子の部  
で連覇を達成した栃木市の



福田知事(左)に全国大会連覇を報告する溝井さん(中央) 11月2日午後、県庁

溝井代次さん(66)が2日、県庁を訪れ、福田富一知事に優勝を報告した。

TBGはシャフト状のボールをクラブで打ち、円形のネットに入れるスポーツ。溝井さんは昨年、宮城県で開催された第4回大会で初優勝。群馬県で開かれた今大会も頂点に立った。

この日は、溝井さんと県TBG協会の小林利恒会長らが訪れた。溝井さんは「練習では出せないような成績で優勝できたのは、周囲のおかげ」などと報告。福田知事は「連覇おめでとうございます。県民の皆さんも元気をもらった。次は3連覇を目指して頑張ってください」とねぎらった。

## 下野新聞に掲載されました

### 一般男子の部、スコア更新



**の 木 溝井さん**

**地元クラブ会長 競技普及に尽力**

TBGはゴルフクラブで、会は4部門に全国各地から、47・84歳の236人が参加し、一般男子の部は73打数の少なさを競う。今大会以下の66人が出場した。

溝井さんは最初のホールからパターで勢いよくスタート。9連続バーディーとイーティーターゲットを果した。大会で12アンダーで回り、こ

## TBG全国大会連覇

【栃木】群馬県で10月に開催された「第5回全日本ターゲットバードゴルフ(TBG)全国大会」の一般男子の部で、岩舟町静、社員溝井代次さん(66)が昨年に引き続き優勝し、2度の出場で2連覇を果たした。今回は同部門の優勝スコアの記録も更新。強さを見せつけての王座に溝井さんは「初めはプレッシャーを感じていたが、集中して冷静に臨めた」と笑顔を見せた。

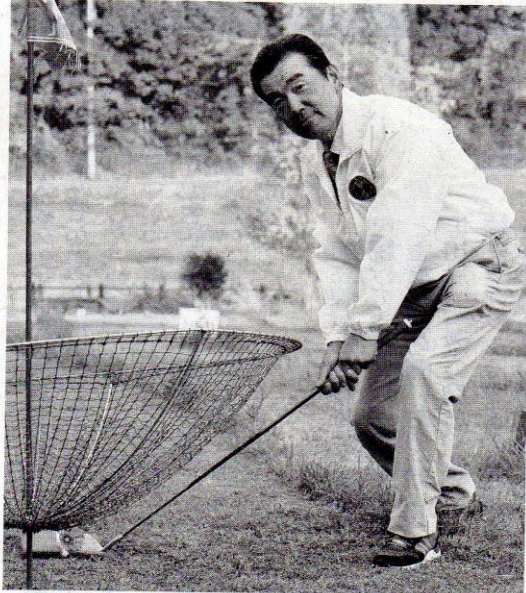
(石塚万知)

これまでの大会同部門優勝スコアを塗り替えて大会を制した。

62歳から競技を始め、現在は週3〜5回、市内や佐野市など県内のコースを回って練習しているという溝井さん。プレッシャーの中でも優勝するには「地道な練習で自信を持つこと。自信がないと攻められない」と語った。

そのほか、今年正式に立ち上げた「岩舟TBCクラブ」の会長を務め、体験などを通して競技普及にも取り組む。今後は県内のイベントでデモンストレーションを行うなどしてさらに周知を図っていくという。

溝井さんは「TBGの魅力はバーディーを出している気分を味わえること。裾野を広げ、多くの人に参加してもらいたい」と話している。



## ターゲット・バードゴルフ

# 大会新で全国連覇

## 栃木の溝井さん 競技歴4年

群馬県太田市で先月開かれた第5回全日本ターゲット・バードゴルフ(TBG)全国大会の一般男子の部で、栃木市岩舟町静の尺八講師・溝井代次さん(66)が2連覇を果たした。溝井さんは、TBGを始めて4年だが、「もっとうまくなって、来年は3連覇を目指したい」と意欲を燃やしている。

TBGは日本で誕生したスポーツで、ゴルフボールにバドミントンの羽根を付けたボールをゴルフクラブで打ち、18ホール(パー72)で打数の少なさを競う。

全国大会では、溝井さんはスタートから9連続バーディー、1イーグルと波に乗り、終わってみれば12アンダー、60(前半30、後半30)の大会新記録。2位に4打差で優勝した。昨年も63の大会新記録で優勝している。

溝井さんは会社員だった頃からゴルフが趣味。TBGは、直径1.5寸のネット

全国大会2連覇を果たした溝井さん(12日、栃木市岩舟町の練習場で)

にボールを入れるため、ゴルフ同様、アプローチの技術を磨く必要がある。溝井さんは「ゴルフがうまくなるように」と、4年前に栃木市のTBGクラブに入会、本格的に取り組んだ。

3年前の洪水で練習場が使えなくなったのを機に、「自分たちで地元で練習場を作ろう」と、仲間を募り昨年、同市岩舟地区の県有地を借りて手作りの練習場を完成させた。昨年、岩舟地区のTBGクラブを結成し、会長になった。

週3回は練習場に通い、腕を磨いているという溝井さんは、TBGの魅力について「ゴルフよりバーディーやイーグルが出やすく、気分が良くなる。実際にゴルフもうまくなる」と話す。今後の目標は「来年の全国大会で50台のスコアを出し、3連覇したい」ときっぱり。「普及を図るため、後進の指導にも力を入れたい」と話している。